

ふくしま ★ゆめ トライ★

福島県内で夢に向かって
新たなチャレンジをしている方、
地域を盛り上げるために
頑張っている方を紹介します！

電気工事士の仕事に 興味を持つ人が増えるといいな！

いしかわ
「石川 禾奈子さん（西郷村）」



施工のやり方も社員に教えてもらいながら学びました。「みんな優しくて分かりやすく教えてくれました」と禾奈子さん。

特注のユニフォームを着て、パイプベンダーという工具を持つ禾奈子さん。9歳にしてその知識と技量、やる気は会社でもトップクラスです！



ペンチを器用に扱い配線をつなぎます。一度作業を始めると大人顔負けのスピードで一気に完成させます。

小学4年生の禾奈子さんは、2024年に「第一種電気工事士」「第二種電気工事士」に合格した「電気少女」。電気工事士は電気設備の工事などを行う際に必要な国家資格で、学科と技能試験があります。第一種、第二種ともに技術だけではなく、電気理論や配線図の知識、施工スピードも求められます。それぞれ合格すると一般住宅や店舗、工場、ビルなどの電気設備を取り扱うことができるようになります。第一種電気工事士の合格率は30～50%といわれており、小学生が合格するケースは全国でも希少です。

禾奈子さんは電気工事会社を営む母を持ち、2歳の時には電気に興味があったそうです。「工事現場で作業をする社員のみんなを見てかっこいいと思いました」と禾奈子さん。「勉強して資格を取ったら工事ができるようになるよ」とお母さんが教えてくれたのがきっかけで、資格挑戦を決意し勉強を開始。技能試験対策では社員に専門用語の読み方や意味を教してもらいながら、試験の候補問題を100回以上解きました。また、扱うために力が必要な工具を使った試験もあるため、握力も鍛えたのだとか。



禾奈子さん手作りの「電気タイムズ」という壁新聞。会社のことはもちろん、電気工事の魅力をPRしています。



読者からのお便り

「ふくしまゆめトライ」に掲載された片岡さんの革製品に対する熱い思いが誌面から伝わってきました。これからも会津の自然や文化を活かした製品を作り続けてほしいです。（30代 二本松市）

2025年 6月号
ふくしまゆめトライ